

魯山人を支えた粋人との絆

# 魯山人と燕台

令和7年11月27日(木)～令和8年3月31日(火)

金沢の粋人である燕台は大正4年に魯山人を食客として迎えました。そして吉野屋当主 吉野治郎に引き合わせ、自身の揮毫した看板を下ろしてでも、彼の篆刻看板を掲げてほしいと頼み込みました。魯山人もまた、燕台が食器に自分の書を書き入れたものを使用し、趣向に合わせて使い分ける細やかな美意識で豊かに日常を過ごす姿に感銘を受けました。

二人はその後も交流を続け、魯山人が北鎌倉に星岡窯を開くと燕台を顧問に迎えて公私にわたり助言を求めました。燕台の深い知識と人脈は魯山人の支えとなり、作品へと昇華させていったのです。大らかで温かみのある燕台の書と、影響を受けつつもそこから独自の美意識を見出した魯山人の作品をご覧ください。



ほそのえんだい  
細野燕台

1872(明治5)年 金沢の商家細野家に生まれ。  
本名は申三。

1915(大正4)年 細野家の食客となった魯山人を山代の吉野屋に紹介。

1928(昭和3)年 魯山人の誘いを受け、星岡茶寮の顧問となり鎌倉へ移る

1961(昭和36)年 没(90歳)

※会期中、一部展示替えがあります

## 第8回 わたしの 福

6月9日から限定各100名様で募集した「福」の字を展示します。審査員による「いろは賞」の発表展示のほか、ご入館いただいた方々による投票で決定する「お気に入り賞」の審査もあります。

2025年11月6日(木)～12月7日(日)



今年度のいろは賞

## 魯山人寓居跡いろは草庵



休館日 水曜日 (祝日を除く)  
開館時間 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

観覧料 一般 560円／75歳以上 280円  
団体(20名以上) 460円 高校生以下 無料

魯山人を支えた粹人との絆

*Rosanjin and Endai*

魯山人

と

燕台



北大路魯山人 吳須釘彫詩文鉢 加賀市美術館蔵

令和7年11月27日(木)~令和8年3月31日(火)



細野燕台 赤絵深鉢 魯山人寓居跡いろは草庵蔵

魯山人寓居跡 いろは草庵

*Iroha-souan — the old temporary abode of Rosanjin*

〒922-0242

石川県加賀市山代温泉 18 の 5 番地  
TEL 0761 (77) 7111 FAX 0761 (77) 7110  
<https://iroha.kagashi-ss.com/>  
指定管理者：加賀市総合サービス株式会社



魯山人寓居跡  
いろは草庵

駐車場